

次期田原市総合計画策定にかかる

まちづくり市民会議

【市民環境・産業経済部会 提言書】

令和5年4月



【はじめに】

私たちが4回にわたり意見交換をした「まちづくり市民会議【市民環境・産業経済部会】」の結果をとりまとめ、報告するものです。

この内容が次期総合計画に生かされるとともに、市民視点のまちづくりを具体的に進めていくことを期待します。

【部会員氏名】 ※50音順

伊藤 祐人
加子 幸子
白井 英俊
宮川 透

岩田 大介
川合 利法
中内田 卓也

岡田 美奈
川口 和也
細田 亨

1 市民環境・産業経済部会の検討領域

市民環境・産業経済部会で検討した領域は、「参加と協働、地域防犯・交通安全、環境共生、環境保全、衛生対策、資源循環、農業、水産業、工業、商業、観光、労働環境・消費生活」に関することです。

2 私たちが未来に伝えたい「田原市の宝」

私たちが感じている「未来に残したい田原市の良さ」「田原市の宝だと思えるもの・こと」について意見交換を行いました。各部会で出された意見を、市民環境・産業経済部会の検討領域において整理・集約すると次のようになります。

① おいしく、新鮮な農産物・海産物、稼げる農業・漁業

田原市は、三方を海に囲まれた半島にあり、気候も温暖で、豊かな水資源などの環境を背景に地域資源が豊富です。花きや観葉植物、おいしく新鮮な農畜産物・海産物等があり、農業産出額が全国第2位を誇っています。

若者などの雇用の場としても農業・漁業が存在しています。

② 県内でも有数の工業が盛んな地域

臨海工業地帯を有し、県内有数の工業地域として、自動車やエネルギー関連など様々な産業活動が行われていて、製造品出荷額等が県下第5位を誇っています。

③ 美しい景観や温泉、レジャー等の魅力的な観光資源

菜の花や海・山などの美しい景観、景勝地や、伊良湖温泉などの新しい観光資源も多くあり、また、自然を活用した様々なレジャーや歴史・文化資源もあり、観光客が来たくなるようなまちです。

④ 環境への配慮、持続可能な社会をつくる活動

日照時間が全国トップクラスであり、風が強いという立地特性を活かし、太陽光発電、風力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギーや「たはらエコ・ガーデンシティ」としての環境共生の取組が活発なまちです。

⑤ 市民が買い物しやすい、活気のある商業

地域の特産物を取り扱う魅力的な小売店、地産地消の飲食店があり、市民の豊かな生活を支えています。

3 「田原市の宝」を未来に伝えるための“不安”や“期待”

前ページで示すような「田原市の宝」を未来に伝えていこうとすると、現在の田原市においては次のような不安や期待があります。

田原市の宝	区分	主な内容
①おいしく、新鮮な農産物・海産物、稼げる農業・漁業	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化 ・農業従事者、担い手の不足 ・生産環境の変化(エサ不足による貝のへい死等)
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな漁場、「日本一おいしい貝がとれるまち」 ・IT化や技術向上、規模拡大等による生産の増加 ・特産加工品の開発等、新たな魅力の創出 ・花きや観葉植物、おいしく新鮮な農畜産物の産地という知名度
②愛知県でも有数の工業が盛んな地域	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う就業者数の減少 ・原油の高騰や自動車のEV化による自動車産業の変化 ・公害等の発生
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・国内最大級となるバイオマス発電所 ・若者などの雇用の場となる企業等の拡大 ・競争による新たな技術の発達
③美しい景観や温泉、レジャー等の魅力的な観光資源	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化、宿泊業者等の後継者不足による廃業 ・市民のおもてなしの気持ちの不足 ・水産資源の減少 ・全国的な知名度、ブランド力の不足
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・伊良湖温泉などの新たな観光資源 ・「自然」に対する観光ニーズの高まり ・若者への魅力の浸透
④環境への配慮、持続可能な社会をつくる活動	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・山林や農地、空き地、道路脇等の荒廃 ・海の栄養不足 ・太陽光発電のソーラーパネル増加による景観の悪化
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルに向けて、全国を牽引する存在(トヨタ等) ・DXの推進による環境負荷の低減
⑤市民が買い物しやすい、活気のある商業	不安	<ul style="list-style-type: none"> ・小売店や飲食店等の担い手不足、高齢化 ・事業承継ができていない ・大型店舗などの増加による既存の店舗への影響
	期待	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい起業家の誕生 ・農畜産物・海産物を利用した商品開発 ・買い物できる場所の増加

4 「田原市の宝」を未来に伝えるために、今、取り組むべきこと

市民環境・産業経済部会では、前ページであげたような不安と期待を踏まえ、「今」何に取り組んでいくべきなのか、今後 10 年間の総合計画を見据えた取組のアイデアを次のように提案します。

特に実施すべきだと考える事項は★マークのものであり、優先的に取り組むことを期待します。

田原市の宝① おいしく、新鮮な農産物・海産物、稼げる農業・漁業

市民の取組案

- ロボット、AI、IoT 等の先端技術を活用したスマート農業を推進し、生産効率を高める。
- 教育の場において、子どもたちが地域の農業、漁業等を学ぶ機会を設ける。

協働による取組案（市民と行政の協力）

★ 農業・漁業と担い手とをマッチングさせるための仕組みや人材派遣等の仕組みをつくる。

- 家庭菜園等で気軽に農業に取り組むことで農業の魅力の発見や生きがいづくりにつながるよう、農機具のレンタルや設備投資に関する支援を行う。
- 漁業の生産環境の変化に対応し、魚の養殖等を行う。
- 農業・漁業を次世代に伝えるための指導者を育成する。
- 農畜産物・海産物等の生産性向上のための情報発信を行う。

行政の取組案

- 生産者、消費者を増やすには人口減少に歯止めをかける必要があるため、田原市の暮らしやすさや若者にとっての魅力を高める。(子育て環境の充実や大学の誘致、スポーツ環境の充実等)
- 農業の担い手が増えるような補助制度等を整備する。
- 関係機関等と連携して田原市の農業・漁業を全国へ PR する。
- 農畜産物・海産物等のブランディングや情報発信の窓口機能を充実する。

田原市の宝② 愛知県でも有数の工業が盛んな地域

協働による取組案（市民と行政の協力）

★ 企業誘致に関する取組を進める。

- 市内の企業と市外の企業において賃金格差が生まれぬよう、格差を是正する。
- 産業においても人材育成のための指導者等を育成する。

行政の取組案

- 企業の人材確保のための補助制度等を整備する。
- 関係機関等と連携して田原市の工業を全国へ PR する。
- 田原市の産業に関するブランディングや情報発信の窓口機能を充実する。
- 市内の魅力的な企業の発展と新たな市外企業の創造など、幅広い工業の拡大。

田原市の宝③ 美しい景観や温泉、レジャー等の魅力的な観光資源

市民の取組案

- 田原市の魅力などを家族で話し合うなど、市民自身が田原市への理解を深め、魅力を再認識する。

協働による取組案（市民と行政の協力）

★ 外国人観光客に向けたインバウンド観光を充実させる。

- 田原市の観光を広く発信するため、ハッシュタグキャンペーンを展開するなど SNS を有効活用する。
- 観光地としての魅力を高めるための景観整備を行う。
- インバウンド観光の充実に向け、様々な場面での英語等の多言語標記を整備する。
- 彩り豊かな景観をつくるために沿道に花を植えるなど、市民・地域がもてなす意識を持つ。
- 観光地としての魅力を高めるために伊良湖温泉関係など観光グッズの充実・周知を図る。
- 体験型観光事業の拡充

行政の取組案

- 観光ニーズに応じた環境整備
- 観光・地域づくりについて、市民等と事業者などと話し合える“場”づくり

田原市の宝④ 環境への配慮、持続可能な社会をつくる活動

協働による取組案（市民と行政の協力）

★ 空き家をリノベーションして活用するなど、放置される空き家をなくして環境の悪化を防ぐ。

- 廃棄物やごみ等の減量と、エネルギーの創出に生かす。

行政の取組案

- ゼロカーボンの取り組み事業支援、エコチャレンジ事業の PR

田原市の宝⑤ 市民が買い物しやすい、活気のある商業

市民の取組案

- 事業主自身が、事業の継続において世襲にこだわらない意識を持つ。

協働による取組案（市民と行政の協力）

- 国内のみならず海外へも視野を広げて商品の販路を開拓する。
- 空き家・空き店舗等を貸し出す仕組みづくり。
- チャレンジショップなど、空き家・空き店舗等を無償または格安で貸し出すことで、有効活用を図る。

★ 起業・創業を志す人材を掘り起こすための仕組みづくりを進める。

○ 後継者がいない企業、事業主の円滑な第三者承継を推進する。

行政の取組案

○ 起業・創業への支援を強化する。